



第2回 かながわ難病リハビリテーション研修 ALS等神経筋疾患患者に対する生活支援編

進行性疾患の支援は診断後早期からきめ細やかなケアと、今後を予測しながらの支援が重要です。しかし希少疾患ゆえにそのノウハウは蓄積されにくく、悩まれている方も多いのではないのでしょうか？今回の研修では、1日目に神経難病患者が初期に抱える日常生活の困りごとの特徴や支援の流れ・実際を紹介し、2日目はコミュニケーション支援におけるスイッチ選定の過程を学ぶことを目標にし、グループでの議論や製作実習を行います。看護師.PT.OT.STなどの医療職、介護職、ボランティア、当事者またはその家族、学生も含めすべての方が対象です。

日 時 平成30年10月20日(土)・21日(日)

両日ともに10:00~17:00 (受付:9:30~)

参加費・定員 (1日目のみの参加も可能です) ※当日徴収

1日目: 80名 4,000円 (資料代込)

2日目: 40名 5,500円 (資料代、材料費1,500円込)

(申込時点で両日参加の場合は2日間で8,000円)

会 場 横浜市総合リハビリテーションセンター 1Fホール

プログラム (予定※プログラムはやむなく変更する場合があります。随時HPでご確認下さい。)

<1日目 平成30年10月20日(土)>

- 10:00~10:50 総論 (ひさご訪問看護リハビリステーション OT 中川翔次氏)
- 11:00~12:00 在リハ事業を活用した神経筋疾患患者などの支援と関連制度 (横浜市総合リハビリテーションセンター 地域支援課 SW 種谷 祥子氏)
- 13:00~14:30 事例報告から学ぶ支援の流れ (横浜市総合リハビリテーションセンター 地域支援課 OT 山崎 文子氏)
- 14:40~15:40 摂食・嚥下の基礎知識 (社会福祉法人県西福祉会 足柄療護園 ST 猪川 尚子氏)
- 15:50~16:50 神経難病者の呼吸・嚥下 臨床編 (ハートケア湘南台訪問看護リハビリステーション ST 菅野 理恵氏)

<2日目 平成30年10月21日(日)>

- 10:00~12:00 操作スイッチの適合 (元川村義肢株式会社 日向野 和夫氏)
- 13:00~17:00 スイッチ工作実習 (横浜市総合リハビリテーションセンター 地域支援課 RE 畠中 規氏
研究開発課 RE 上野 忠浩氏、藤記 拓也氏)
- (実際に半田ごてを使いスイッチ工作を行います。電子工作未経験の方でも作れる内容です。製作する為の材料はこちらで準備致します。)

主催: かながわ難病等リハビリテーション支援連絡会
協力: 横浜市総合リハビリテーションセンター NPO法人ICT救助隊
後援: 日本ALS協会神奈川県支部

お申し込みは
裏面へ!



申込方法

ホームページ・メール・FAXにて受付いたします

Homepage : <http://knrid2017.jimdo.com>

Mail : knrid2017@gmail.com

FAX : 045-878-4892

OTの方は生涯育成ポイント（1日1ポイント）が付きます。
以下の内容をご入力の上、1人1件ずつお申し込みください

申し込み	ご所属(職場名・職種・専攻名)	
	ご氏名(ふりがな)	メールアドレス(間違いのないようご注意ください)
	電話(必ずご記入ください)	FAX
	ご住所	参加する日 1日目・2日目・両日

お問い合わせ： かながわ難病等リハビリテーション支援連絡会
mail: knrid2017@gmail.com



研修会場アクセス



【電車・徒歩でお越しの場合】

JR/市営地下鉄「新横浜駅」から

- ・徒歩 10分
- ・市営バス300系統「仲町台駅」行きで「浜鳥橋」下車
- ・専用送迎バス 約5分

詳しくはHPにてご確認ください。

横浜市総合リハビリテーションセンター HP

<http://www.yokohama-rf.jp>

